

【表1】市の入院・医療費の割合(平成23年5月分)

1位	その他の悪性新生物(がん)	13.27%
2位	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害	8.85%
3位	結腸の悪性新生物(がん)	4.36%
4位	脳梗塞	4.06%
5位	胃の悪性新生物(がん)	3.99%
6位	気管、気管支および肺の悪性新 生物(がん)	3.63%
7位	高血圧性疾患	3.48%
8位	その他の損傷およびその他外因の影響	3.40%
9位	その他の循環器系の疾患	3.25%
10位	その他の脊柱障害	3.03%
11位	その他	48.68%

市保健センターで実施している集団健診は、予約不要で、期間中ならばいつでも自由に受診できる体制をとっています。ぜひこの機会に、がん検診を受け、笑顔で健康な一年を送りましょう。

3人に1人が「がん」になる時代です。身近にも治療されている方が多いはず。「がん」について知識があり、早期発見が大切だと知りながら、検診受診率は一向に伸びていないのが現状です。

左記の【表1】は、牛久市の入院・医療費の統計(平成23年5月分)です。悪性新生物というのが「がん」に当たります。「がん」は、1位・3位・5位・6位に入っており、全体の4分の1を占めています。検診で早期発見することで、短期間での治療や負担の少ない治療法が可能です。40歳以上の方は、年に1回がん検診を受けましょう。

集団健診で がん検診を受けよう!



肺がん検診



検査内容	胸部 X 線間接撮影をします。肺全体を撮影し、その写真を2人の専門医がそれぞれ独立して読影する「二重読影」を実施しています。精査を要する可能性があると判定された X 線像については、過去の撮影フィルムとの比較を行う「比較読影」を行い、要精密検査の絞り込みをしています。
結果	肺がんの結果は「異常なし」、「要指導」のほかに、がん分類で「【E1】肺がんの疑いを否定しえない」、「【E2】肺がんを強く疑う」の2つは要精密検査になります。肺がん以外にも結核についての所見の有無も判断しています(分類: D1～D4)。
料金	40歳以上の方…500円
市の平成22年度実績	受診者: 6,650人、うち要精密検査者: 149人、うち「がん」発見数: 2人 (要精密検査者の中で精密検査を受診した人数: 87人)
医療機関で行う 主な精密検査内容	大きなフィルムで胸部 X 線撮影(直接撮影)をします。場合によっては、胸部 CT などを実施する場合もあります。

胃がん検診



検査内容	胃のバリウム X 線撮影を実施しています。10時間以上の空腹時にバリウムと発泡剤を飲んで、風船のように胃を膨らませ、撮影時に体の向きをさまざまに変えることで、胃の中でのバリウムの付き具合などの変化を見ます。撮影された画像は、後日専門医が読影します。
結果	カテゴリー5段階分類 【カテゴリー1】異常なし、【カテゴリー2】軽度異常(経過観察)、【カテゴリー3・4・5】要精密検査
料金	40歳以上の方…1,500円
市の平成22年度実績	受診者3,580人、うち要精密検査者: 570人、うち「がん」発見数: 6人 (要精密検査者の中で精密検査を受診した人数: 476人)
医療機関で行う 主な精密検査内容	胃がんの内視鏡(胃カメラ)を実施します。口または鼻から内視鏡をしながら直接胃の状態を確認します。施行中に腫瘍などを切除したり処置をすることもあります。病院によっては麻酔などで無痛処置をして行うこともあります。

大腸がん検診



検査内容	提出日を含め3日以内の便を、専用容器に2日分少量採取します。検診実施日に提出します。検査機関で、便の中に血液成分が無いかどうか判定します。大腸がんなど出血を伴う下部消化器化の疾患を発見するためのスクリーニング検査です。血液成分の有無を検査することで、自覚症状が出る前に早期に発見することにつながります。								
結果	提出した検体2本ごとに「陽性」または「陰性」の判定をします。1本でも「陽性」の場合は、精密検査対象となります。								
料金	40歳以上の方…600円 下記の生年月日の方には無料受診券と専用容器を送付しています。ぜひ受診しましょう。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>生年月日</th><th>※ S…昭和</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S46.4.2～ S47.4.1</td><td>S41.4.2～ S42.4.1</td></tr> <tr> <td>S36.4.2～ S37.4.1</td><td>S31.4.2～ S32.4.1</td></tr> <tr> <td>S26.4.2～ S27.4.1</td><td></td></tr> </tbody> </table>	生年月日	※ S…昭和	S46.4.2～ S47.4.1	S41.4.2～ S42.4.1	S36.4.2～ S37.4.1	S31.4.2～ S32.4.1	S26.4.2～ S27.4.1	
生年月日	※ S…昭和								
S46.4.2～ S47.4.1	S41.4.2～ S42.4.1								
S36.4.2～ S37.4.1	S31.4.2～ S32.4.1								
S26.4.2～ S27.4.1									
市の平成22年度実績	受診者：4,869人、うち要精密検査者：284人、うち「がん」発見数：5人 (要精密検査者の中で精密検査を受診した人数：200人)								
医療機関で行う 主な精密検査内容	肛門からの内視鏡検査を実施します。数日前から検査食や下剤などを服用し、準備をして行います。便潜血検査で「陽性」だった場合は、再度便潜血検査を行うことはありません。								

検診委託機関である「茨城県総合健診協会」がまとめた、茨城県内37市町村のがん検診の実績結果が下記の【表2】になります。精密検査対象となった方には再検査の結果が集約されるシステムになっていて、添付された書類を受診病院に提出することで、検診の精度管理に役立てられています。

精密検査が必要となった方の中には、さまざまな理由から再検査を受けない方がいます。残念ながら放置してしまっただけで、翌年進行がんが発見されるケースもありますので、必ず精密検査を受けることが重要です。

【表2】茨城県内のがん検診の実績

平成22年度の状況	肺がん検診	胃がん検診	大腸がん検診
受診者総数	189,702人	82,460人	121,931人
要精密検査該当者	5,112人(2.7%)	11,509人(14.0%)	8,522人(7.0%)
精密検査受診者数	4,319人(84.5%)	9,507人(83.2%)	6,226人(73.1%)
精密検査受診者うち異常なしの数	2,052人(40.1%)	935人(8.1%)	1,514人(17.8%)
がん発見数	101人(0.05%)	128人(0.16%)	208人(0.17%)

これからの集団検診の日程

日程(全日程午前10:30まで受け付け)			
12月	5日(水)	平成25年 2月	1日(金)
	6日(木)		2日(土)
	7日(金)		3日(日)
	9日(日)		4日(月)
	10日(月)		
	11日(火)		

【申し込み方法】…予約は不要ですが、「集団受診券」が必要です。事前に、市保健センター(☎873-2111内線1742)へ電話でお申し込みください。

メタボ健診(特定健診)も実施しています。がん検診と一緒に、ぜひ年に1回健康診査を受けましょう。

